

2022Japan National Team Report "監督"



報告者氏名	鈴木 あづさ
大会名	アジア・オセアニア選手権大会
開催地	インド・ムンバイ
大会期間	12月13日～12月20日

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、JODA 海外派遣担当岡田までメールにて送付して下さい
- JODA 理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要です(文中に貼り付けて下さい)
 2. 他国OP艇を接見して撮影する際には、必ず相手国の選手、コーチの了解をとって下さい
- 帆走指示書のコピーを添えてください。

現地までの旅程	成田空港 → ムンバイ (ANA) ムンバイ → 成田 (ANA) チームメンバーが東京～鹿児島と1ヶ所に集合して出発するというのは現実的ではありませんでしたが希望により今回は全員が成田空港からの直行便に乗りインドへ出発しました。 帰りも同じく成田空港で解散となりましたので関東メンバー以外は大変だったのではないのでしょうか。 西日本のメンバーは西から出発しても良かったのではないかな?と個人的には思いました。
旅行代理店	三鶴航空サービス株式会社 グロリアソアーズで見積りを取りましたがチケット代が高額だったため 3年前のアジアでお世話になった三鶴航空サービスへも見積りをお願いしたところ ひと家族 ¥50,000 程お安い見積りだったため、皆さんの意見も聞き、こちらに決めました。 オマーンの時もそうでしたが、こちらが1番お安いと思います。 会社の皆様とても感じが良いのでおすすめです。
渡航費用	往復航空券：1名 ¥151,800 (成田空港までの費用は含んでいません。) エントリー費などを含んだ全体的な渡航費用は1家族 ¥650,000～¥800,000 ほど。 サポーターも選手と同じホテルに宿泊したため費用コバラツキがあります。 費用の総額は1家庭 ¥800,000～¥900,000 程だと思います。
エントリー料	※ <u>実際に支払った通貨で記入して下さい</u> 選手 650ドル×9名分 (大会期間中の宿泊と食事代含む) 役員 650ドル×3名分 (大会期間中の宿泊と食事代含む)
一人当たりの宿泊費用	選手+役員 エントリー費に含む。+ アーリー宿泊 65ドル(1名分) サポーター 約¥200,000 (10泊)

その他食料費	12月11日インド門へ観光に行った際に嘉手川さんのお知り合いの方のオススメのイタリアンレストランで夕食 20984.55ルピー(¥35,628)でした。 物価の安いインドにはお高めのお洒落なレストランで気分が上がりました。 とても美味しかったです。 今回、観覧船はFREEでした。
チャーター料金	コーチボート 800ドル×1艇分(シェアしたUAEと折半した金額) OP 550ドル×9名分
大会本部の対応	他のIODA大会と同様にアプリを使用して全ての情報を把握しました。 各国コーチ、国代表、監督はWhatsAppを使用して情報を得ました。 計測は建物の中とかではなく外で行ったので、かなり暑かったです。 何かを確認しようとする、たらい回しにされてしまうので疲れました。
チームリーダーミーティングの様子、内容	初日は、IODA、大会事務局、レース委員会、ジュリーの方々から一言ずつ挨拶がありました。 とても和やかな雰囲気でした。
選手達の様子で 気をつけたこと	時差は-3.5時間だったので、それほど気になりませんでした。 日本との気温差が昼間は20℃以上あったので、体調管理に気をつけました。 時間の管理や生活リズムがなかなか上手く出来ない子もいましたが少しずつ時間で動けるようになっていたように思います。 寝不足で体調を崩さないように夜更かしをせずにメリハリのある生活が出来るよう気をつけました。 ONとOFFの切り替えをするようにとコーチから何度も話があり、なかなか切り替えが出来ていなかった選手も切り替えが出来るようになってきていました。
食事はどうでしたか	出国前に衛生面に関して各家庭で話をしてくれていたもので、ホテル内で食事をする時には水道水で洗ったような生野菜やフルーツなどは少しずつ体に入れて大丈夫かどうかの確認をしながら食事をしていました。 数日間は色々と考えながらの食事でしたが特に問題なかったので国内にいた時と変わらないように普通に何でも食べました。 フルーツではメロンが人気で山盛り食べている選手も多かったです。 全般的にすべて美味しかったです。 ランチボックスも美味しかったです。 ランチボックスは途中からmenuに変更があり量が多くて食べきれずに残すことも多かったです。 辛い食べ物も多かったので辛い物が苦手な選手は大変だったかもしれませんがサポーターが毎朝おにぎりを作ってくれたので選手は白米をしっかりと食べていたので元気に過ごすことが出来ました。
セキュリティなどで 気をつけたことはあり ましたか。	セキュリティがとても厳しい国なので治安は良かったです。 ホテルに入るのに毎回空港レベルの手荷物検査がありました。 もちろんホテルに入ってきて来る全ての車両に関しても爆発物検査が行われていました。 炊飯器が手荷物検査でエラーになり部屋に持ち込む事が出来ませんでした。
荷物に関して工夫した こと	今回は受託手荷物の無料範囲が1人スーツケース2つまでOKだったのでスーツケースとボイド管やファイルを無料で預けることが出来ました。 直行便だったので予備のセールもボイド管に巻いたので手荷物も減って良かったです。

日本との通信状況 手段	各家庭に任せました。 ポケットWiFiを持参。 SIMカードを差し替える。 海外でもそのまま使用可能な携帯会社を使用。 皆それぞれ用途に合わせていたと思います。
他国チームとの 国際交流の実施	風待ち中などにチームTシャツの交換など他国との交流を積極的に行っていました。 英語を話せる選手は積極的コバスの中でも楽しそうに過ごしていました。 SNSで繋がれる世代なので連絡先の交換をして帰国後も交流は続いています。 今年のOPでの国際大会や420での国際大会での再会を約束してお別れをしました。
持参してよかった 食品、医薬品等	今回、各家庭で好きな食品を持ち込みましたが、それほど食べませんでした。 炊飯器をお借りしてチームで持参したので全家庭お米を2kgずつ持ち込みました。 おにぎり用こ、海苔、ふりかけ など 薬も一通り持ち込みましたが全く使いませんでした。
次回参加者へ アドバイス	選手はやはり英語は普通に出来るようになってきていると楽しいと思います。 レース中もコミュニケーションが取れて気持ち的にも楽しそうです。 セッティングや準備など自分の事は自分で出来るようにしておく事も大事だと思います。 また、選考会が終わってから大会に向けての準備が大変なのですが連絡は密に取れる事が望ましいと思います。 今回、意見を求めても音信不通になる人も多く話が進まず苦労しました。
JODA への要望	NTとしての自覚が足りていない選手が増えて来ているよう思います。 教えてあげないとわからない事も多いと思うので、協会としてももっともっと選手や親をサポートしてあげるべきだと思います。 今後はきめ細やかなサポートをしてあげられるといいと思います。 2021年、2022年とアジアでは良い結果が残せているので引き続き結果を残せて行けるように強化も出来ると思います。 2月の選考会から10ヶ月間という長い間 サポートと応援をしていただき本当にありがとうございました。
その他	今回9名中5名が中3でした。 日程が伸びてしまって受験前の大事な時期だったと思いますが、全日本にもみんなで参加しました。 全日本でもアジア選手権でもそれぞれ結果が残せたので良かったと思います。 またインドでは色々な方のサポートにより、持ち込み出来なかった炊飯器をホテルのキッチンで早朝1回のみ炊飯可能としていただき、選手たちのためにサポーターの母や父がおにぎりを作ってくれました。 朝早くから本当にありがとうございました。

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会